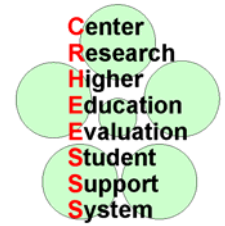


週刊センターニュース

No.173



第173号(2007年9月10日) 毎週月曜日発行
発行: 金沢大学 大学教育開発・支援センター
URL: http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm

○●○ 第157回共同学習会のご案内 ○●○

日時: 2007年9月11日(火) 午前10時45分~12時15分

場所: 角間キャンパス総合教育棟南棟1階 小会議室

※ 開催日時および会場は、通常と異なっておりますので、ご注意ください。

報告者: 吉田武大 当センター客員研究員(独協大学非常勤講師)

テーマ 「アメリカの大学における大学教員評価制度に関する一考察
ーテキサス大学エルパソ校を一事例としてー」

○●○大学設置基準の改正によるFDの法的義務付けと当センターの使命について○●○

すでに総務部より各部長宛にも通知がなされていますが、大学設置基準の一部改正(7月31日公布)が行われ、平成20年4月1日から施行されることになりました。これに関し各部署において議論が始まっているかと思いますが、以下の点は特に重要ですので、文部科学省高等教育局長名での通知における概要から、紹介します。

○設置基準第2条の2 大学は、学部、学科又は課程ごとに、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を学則等に定め、公表するものとする

○同 25条の2 大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに一年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。また、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

○同 25条の3 大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。

このうち、25条の3については、留意事項として次のように記されています。

「いわゆるファカルティディベロップメント(FD)については、これまで努力義務であったものを義務化するものであるが、これは大学の各教員に対し義務付けるものではなく、各大学が組織的に実施することを義務付けるものであること。これを踏まえ、各大学においては、授業の内容及び方法の改善につながるような内容の伴った取組を行うことが望まれること。」

当センターは、「学内共同教育研究施設として、金沢大学における教育方法、教育システム、評価システム及び学生支援体制の研究開発を行う」(センター規程第2条)ことを使命として、本学における教育方法に関する研究開発を行ってきました。教育方法改善に資する情報を提供する当ニュースの発行、共同学習会の開催(原則毎週)が、日常的なFD活動として位置づけられます。各部署のFD実施においては、当センター教員が積極的に参画してまいりました。また、毎年大学教育セミナー(3月)、専門分野別大学教育開発セミナー(11月)を、学外からの研究者を講師として招いて開

催しおります。研究活動の成果は、大学教育学会等で報告するとともに、『国立大学法人化の衝撃と私大の挑戦』（早田幸政編、エイデル研究所、2005年2月）、『TESKライブラリー1 新時代の大学像と専門人材育成』（青野編、2006年6月）および、『TESKライブラリー2 教員の所属組織』（早田編、2007年7月）として公刊しております。

当センターとしましては、今回のFD法的義務付けにともない、FDセンターとして「内容の伴った取組」に向けた活動に一層、力を入れてまいります。教職員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。（文責：教育支援システム研究部門 青野 透）

○●○ TESK ライブラリー2 「教員の所属組織」刊行しました ○●○

平成17年の「教員の職」に関する制度変更、平成18年の「講座/学科目制」規定削除に伴う新たな制度がすでに実施されました。これに関連し、本センターでは先に先進的の大学改革推進委託事業「今後の『大学像』の在り方に関する調査研究：教員の所属組織」を進め、調査研究最終報告書（平成19年3月）を上梓しましたが、この度、報告書のうちアンケート調査及び国内訪問調査の部分等を抜粋する形で、TESK ライブラリー2 『教員の所属組織－今後の「大学像」の在り方に関する調査研究報告書より』（早田幸政編、2007年7月）を刊行致しました。大学単位及び専門分野別の教員組織改革にかかる現状分析・考察、教員組織改革を有為に進めている諸大学における現場の状況を読みとることができると思われまます。

ご関心がある方は、すでに各部局長宛に送付しておりますので、ご笑覧ください。

○●○ 高等教育に関連する学会・セミナー情報 ○●○

- ・9月20日（木）13:30-17:30 大学評価フォーラム「評価への取組 改善への取組」（大学評価・学位授与機構）

基調講演：尾池和夫（京都大学総長）、概要説明：荻上紘一（大学評価・学位授与機構評価研究部教授）、事例発表：大野眞男（岩手大学理事・副学長）、難波正義（新見公立短期大学長）

パネルディスカッション：上記報告者と中野常男（神戸大学理事・副学長）、中村圭爾（大阪市立大学理事・副学長）

会場：日本青年館ホテル 中ホール（地階）

問い合わせ先：独立行政法人大学評価・学位授与機構 評価事業部評価企画・国際課

TEL:042-353-1610、1612 FAX:042-353-1559、E-mail:kikakuchosei@niad.ac.jp

※詳細は、http://www.niad.ac.jp/n_kenkyukai/1179371_1207.html を参照

- ・9月20日（木）13:00-17:20 「“多様化”時代の高等教育」（大学コンソーシアムひょうご神戸第2回FD・SDセミナー）

会場：神戸親和女子大学三宮サテライトキャンパスセンタープラザ（9階）教室

基調講演：梶田叡一（中央教育審議会副委員長）

テーマ別分科会：テーマ① 「FDの義務化への対応」（小笠原正明、酒井 陽一）、テーマ② 「学生のメンタルケアと大学の対応」（苫米地憲昭、細澤仁）、テーマ③ 「大学職員の専門職性とマネジメント能力」（高橋真義、福島一政）

申し込み・問い合わせ先：大学コンソーシアムひょうご神戸 研修交流委員会事務局

電話：0794-84-3608/FAX：0794-85-1102 Email: conso-hyogo@kuins.ac.jp

※詳細は、<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/files/osirase/190920.pdf> を参照